

事業NO.701	事業名	「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づく 都営水道事業事務委託の解消	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------------------------------	----------	-----

評価対象事業名	「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づく都営水道事業事務委託の解消				部課名	水道部業務課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3 5-(1)-1	係名	庶務係	内線	3413				
計画事業名					歳出科目	款	項	目				
関連計画	「多摩地区水道経営改善基本計画」「東京水道経営プラン2004」				補助区分	国	都	市単独				
事業の目的・概要	目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入											
目的	東京都水道局が平成15年6月に策定した「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づき、同計画が定める平成24年度までの移行期間内に都営水道事業の事務委託方式を解消する。											
概要	<p>現在、多摩地区の25市町が東京都営水道事業に統合(一元化)されているが、その事業運営は地方自治法第252条の14の規定に基づく事務委託方式で行われている。これにより実質的には市町域ごとに水道事業が運営されており、多摩地区においては都営水道のスケールメリットを生かした広域的・均質なサービスが展開できていない。こうしたことから、サービスと給水安定性の向上などを図るため、平成15年6月、東京都水道局では、事務委託解消と経営改善による運営方式の抜本的な改革の指針として「多摩地区水道経営改善基本計画」を策定した。</p> <p>この経営改善基本計画を受けて、受託市町においては、平成24年度までの10ヵ年以内に事務委託の解消を完了するための「移行計画」を策定し、年次計画に従って実施することとなった。</p> <p>三鷹市においても、平成16年度中に移行に対する基本的な考え方をまとめた市の「移行計画」を策定し、その後、東京都水道局との調整を行ったうえで、本計画に沿って平成24年度までに事務委託を解消するための取り組みをすすめる。</p>											
始期	15	年度から	終期	24	年度まで	当該事務に従事する実職員数	-	人	または	-	時間	
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点	平成15年度中に作成する予定であった移行計画の主管部原案については、年度内における作成に至らなかったが、平成16年度の早い時期に原案を作成し、本年度中に三鷹市の「移行計画」を策定する。											
今年度の事業・業務量の説明	三鷹市としての基本的な考え方をまとめた上で、東京都水道局と協議を始めるとともに、人事担当部局等との協議を行ったうえで、事務委託解消の年次計画となる三鷹市の「移行計画」を策定する。											
今年度のまちづくり指標の説明	三鷹市としての「移行計画」の策定											
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)	<p>武蔵村山市...平成16年度から徴収系業務、平成17年度から施設管理系業務、平成18年度から給水装置系業務を移行</p> <p>多摩市...平成16年度から徴収系業務、平成21年度から施設管理系業務及び給水装置系業務を移行</p> <p>瑞穂町...平成17年度からすべての業務を東京都へ移行予定(H16.7.7報道発表)</p>											
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成								
事業・業務量		事務委託解消に向けた「移行計画(案)」の策定	原案に基づく三鷹市としての「移行計画」の策定	原案に基づく三鷹市としての「移行計画」の策定に向けた検討								
まちづくり指標 行政指標 協働指標		「移行計画(案)」の策定	三鷹市としての「移行計画」の策定	三鷹市としての「移行計画」の策定に向けた検討								
予算額(千円)												
決算額(千円)												
執行率(%)												
年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	部内における原案の作成		「移行計画」原案に係る理事者協議		〔都水道局との協議 人事担当部局等との協議〕						「移行計画」の策定	
結果	部内における原案の作成		「移行計画」原案に係る理事者協議(5/24実施)		〔都水道局との協議 人事担当部局等との協議〕							
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等	5/24に移行にかかる基本的な考え方を理事者に確認したのち、これを受けて東京都水道局と協議を継続的に行っている。あわせて部内における検討委員会の開催、庁内関係部署との調整についても、継続的に実施している。											

事業NO.701	事業名	「多摩地区水道経営改善基本計画」に基づく 都営水道事業事務委託の解消	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------------------------------	----------	-----

〈事業の中間評価〉

中間評価時の課題と次年度の改善方向		
今後、東京都水道局との協議を行うにあたり、三鷹市としての基本的な方向性について理事者までの確認を行った。本事業年度下半期においては、この考え方をもとにして東京都との協議の原案を確定させるため、関係部局との調整を行う。 平成17年度においては、確定した原案をもとに、東京都との具体的な協議を行っていく。		
中 間 評 価	主管課中間評価	
	項目	
	コスト面	維持
	成果面	維持
総合評価	E 第3水準	
(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 平成16年度上半期において、移行に関する市の基本的な考え方を確認した(5/24開催の理事者協議)。これを受けて、今後は庁内における所要の調整を行い、東京都水道局との協議をすすめることとする。なお、事務委託解消の協議にあたっては市民サービスの低下を招くことのないよう十分留意することとする。		
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
妥当である	意見	
改善の余地あり		
抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価		
評価を踏まえ予算化に努める。 平成24年度までの事務委託解消に向けて慎重に対応すること。		

〈事業の事後評価〉

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		平成15年度から取り組んできた移行に関する市の基本的な考え方をまとめることについては、平成16年度上半期において達成をみたが、その後における移行計画の策定については、当初計画どおりの進捗を得ず、現在も部における検討を行っているところである。
	成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		当初計画に掲げた三鷹市としての「移行計画」の策定には至らなかったが、市としての基本的な考え方をまとめ、これに基づく部内における検討などにおいて、内容の濃い議論を行ってきたことは一定の評価ができると思われる。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		事務委託解消による影響については十分な分析を行い、移行時期や手法に伴う事業の停滞やサービス低下を招くことのないよう十分な議論・検討を行ってきたことについては一定の評価に値すると考える。
	総合評価及び次年度の実施方針		
	理由		事務委託解消をめぐる状況は、近隣自治体などの動向も含めて動きが出てきているところであり、こうした中で、その時期や手法などを慎重に検討する必要がある。何よりも市民サービスの低下を招くことのないよう、引き続き十分な議論を重ね、この事業に取り組んでいく必要があるといえる。
	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
理由			
効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価			計画の策定については東京都と近隣自治体と動向を踏まえながら慎重に検討する必要がある。さらなる市民サービスの向上を図ることを念頭に置き検討することが望ましい。

事業NO.702	事業名	石綿セメント管管種変更工事	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------	----------	-----

評価対象事業名	石綿セメント管管種変更工事			部課名	水道部工務課																																	
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・3-(1)-	係名	工務係	内線	3436																														
計画事業名	石綿セメント管の管種変更			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費																														
関連計画				受託水道会計	事項	3.配水事業費																																
補助区分	国	都	市単独																																			
目的	事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入 震災時に市民への供給を確保するため、耐震強度の劣る石綿セメント管の管種変更を進める。																																					
概要	耐震強度が劣る石綿セメント管を、より強度の高いダクタイル鋳鉄管へと布設替える。																																					
始期	昭和53年度	から	終期	17年度	まで	当該事務に従事する実職員数	5.6人 または 時間																															
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点 平成16年度予定路線は、私道の布設替え路線も多く事業執行が遅れないように、私道の承諾の取得を含め前年度(平成15年度)中に準備を進めた。																																						
今年度の事業・業務量の説明 14,300mを計画延長とする。																																						
今年度のまちづくり指標の説明 今年度末の残存率0.97%を目標とする。																																						
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th> <th>H14年度</th> <th>H15年度</th> <th>H16年度目標</th> <th>H16年度達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td> <td>実施延長 14,780m</td> <td>実施延長 14,556.9m</td> <td>計画延長 14,300m</td> <td>実施延長 13,315m</td> </tr> <tr> <td>まちづくり指標 行政指標 協働指標</td> <td>残存率 10.28%</td> <td>残存率 5.54%</td> <td>残存率 0.97%</td> <td>残存率 1.27%</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>1,266,129</td> <td>979,200</td> <td>914,050</td> <td>914,050</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>881,543</td> <td>974,595</td> <td></td> <td>787,990</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>69.6%</td> <td>99.5%</td> <td></td> <td>86.2%</td> </tr> </tbody> </table>									年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成	事業・業務量	実施延長 14,780m	実施延長 14,556.9m	計画延長 14,300m	実施延長 13,315m	まちづくり指標 行政指標 協働指標	残存率 10.28%	残存率 5.54%	残存率 0.97%	残存率 1.27%	予算額(千円)	1,266,129	979,200	914,050	914,050	決算額(千円)	881,543	974,595		787,990	執行率(%)	69.6%	99.5%		86.2%
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成																																		
事業・業務量	実施延長 14,780m	実施延長 14,556.9m	計画延長 14,300m	実施延長 13,315m																																		
まちづくり指標 行政指標 協働指標	残存率 10.28%	残存率 5.54%	残存率 0.97%	残存率 1.27%																																		
予算額(千円)	1,266,129	979,200	914,050	914,050																																		
決算額(千円)	881,543	974,595		787,990																																		
執行率(%)	69.6%	99.5%		86.2%																																		
年間の実施スケジュール																																						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																										
当初計画						設計・施工期間																																
結果						設計・施工期間																																
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等 他企業工事との調整により、一部工事について2月末では終了できない工事が発生したため。 次年度の設計準備については、道路管理者及び私道の所有者との調整が遅れたため。																																						

事業NO.702	事業名	石綿セメント管管種変更工事	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------	----------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		道路管理者及び私道の地権者と前年度より交渉し、事業に着手しているが、まだ、道路管理者や地権者の理解を得られない路線も点在する。次年度についても、今年度より、道路管理者や地権者と交渉し理解を早めに求めていく。	
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])	
	項目	維持	総括説明
	コスト面	維持	埋め戻し土の変更等によりコストの削減を図る。
	成果面	維持	
	総合評価	第3水準	委託の可能性 有(無) (理由)
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である 改善の余地あり 抜本的見直し必要	意見	事業着手にあたり、理解が得られていない路線については、関係者に理解が得られるよう計画的に取り組むことが望ましい。
	改善提案に対する政策会議の意見・評価		評価を踏まえ予算化に努める。

《事業の事後評価》

主 管 課 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		都道の工事に伴う減長や道路管理者の指示による工事の中止により減長を余儀なくされた。
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		本年度施工のできない路線についても、協議を重ね次年度の工事について道路管理者の了解も得ている。このことにより、予定どおり目標を達成する見込みである。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		コスト削減については、道路管理者の理解を得て粒状改良土から第二種改良土に変更することができた。これにより、若干ではあるが土工のコスト削減を図ることができた。
	総合評価及び次年度の実施方針		本年度施工のできない路線についても、次年度に計画し概ね道路管理者の了解も得ている。よって、平成17年度には石綿セメント管については目標を達成する見込みである。
	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
理由			
効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価			次年度設計等の準備を早期に着手していることは評価できる。引き続きコスト縮減等を図りながら計画に沿った石綿セメント管の管種変更を進めることが望ましい。

事業NO. 703	事業名	水中ポンプ取替工事	部内管理事業	水道部
-----------	-----	-----------	--------	-----

評価対象事業名	水中ポンプ取替工事			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・1-(1)-	係名	配水係	内線	3441		
計画事業名	深井戸の適正な維持管理			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	1.原浄水施設費
関連計画				会計	事項	1.原浄水施設事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 市内39箇所の水源井それぞれの井戸に適した揚水量及び水質等にあった水中ポンプ、モーターの取替を行い、地下水を主とする水道水の安定供給と地盤沈下等の環境問題に寄与する。

概要 三鷹市の水道水の約6割にあたる自己水源である深井戸の揚水量を維持するため、経年劣化等により能力が低下した水中ポンプ、モータを順次取り替える。

始期 - 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人 または 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

水中ポンプ取替工事の水源選定については、更生工事実施予定水源及び使用年数等を考慮し、各々水源井に適した水中ポンプ、モータの材質、性能を決定し、安定揚水を図ることとした。

今年度の事業・業務量の説明
4箇所の水源井

今年度のまちづくり指標の説明
地下水と都水の現状割合を維持するために、各々水源井に適した水中ポンプを設置し、市民へ安全でおいしい水を供給する。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成	H17年度計画	目標	年度
事業・業務量	実施水源井 牟礼5号、三鷹北野5号、三鷹中原3号、上連雀7号、野崎2号	実施水源井 上連雀1号水源 北野2号水源 牟礼1号水源 牟礼4号水源	計画水源井 上連雀2号水源 三鷹新川3号水源 三鷹新川7号水源 牟礼2号水源	実施水源井 上連雀2号水源、上連雀5号水源、三鷹新川7号水源、牟礼2号水源、牟礼3号水源	計画水源井 三鷹深大寺水源 三鷹北野1号水源 野崎3号水源 三鷹新川3号水源		
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井4箇所の揚水量維持	計画水源井3箇所及び故障水源井2箇所の揚水量維持	計画水源井4箇所の揚水量維持		
予算額(千円)	29,400	26,355	21,520	23,940	23,625		
決算額(千円)	25,935	17,640		23,940			
執行率(%)	88.2%	66.9%		100.0%			

年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				← 設計施工期間 →								
結果				← 上連雀2号・上連雀5号水源設計施工期間 →				← 三鷹新川7号・牟礼2号水源設計施工期間 →			← 牟礼3号水源設計施工期間 →	

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等
前期において当初予定外の水源井水中ポンプが故障したため、連携して行う予定の更生工事も含め関係機関との振り替え工事調整を行い実施することができた。また、年度後半、新たに故障した水中ポンプについても迅速に対応し、当初の事業目的を達成すると共に安定揚水量を確保した。

事業NO.703	事業名	水中ポンプ取替工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	-----------	--------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		水源井更生工事後の設計施工は、現状のデータがありポンプ能力の的確な選定が行えるが単独工事の場合は、現状を経験で把握し、実施している。		
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])	
	項目	増加	総括説明 毎年4台の新品水中ポンプの取替工事を予定しているが、ポンプモータ容量により金額は増減する。井戸を掘って30～45年が経過した水源井であり、揚水量の現状維持が限度である。	
	コスト面	維持		
	成果面	下		
総合評価	第4水準	委託の可能性 有(無) (理由) 老朽化した井戸それぞれの特徴を把握した経験が必要。		
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		意見 今後とも、地下水の確保が図られるよう、必要な施設の維持管理及び更生を東京都に要請することが必要である。	
	妥当である			
	改善の余地あり 抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価		評価を踏まえ予算化に努める。		

《事業の事後評価》

主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由	当初の計画どおり、水源井4箇所の中水ポンプモータ取替工事を実施すると共に、年度後半の故障による予定外の中水ポンプ取替工事も迅速な対応で年度内に完了し、安定揚水量を確保することができた。	
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
	理由	各々水源井の安定揚水が可能になった。	
	効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由	今年度は、3箇所の水源井が更生工事との連携により、各々水源井に適した材質、能力の中水ポンプモータを選定、設置したことで若干の増量と余力ある安定揚水が可能になった。	
事 後 評 価	総合評価及び次年度の実施方針	安定揚水による水道水6割の自己水維持を目指す。	
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由	3月中旬への工期の延長は予定外のポンプの故障によるものと認められる。	
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
	理由		
	効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
評 価 会	理由		
	総合評価	地下水を継続的、安定的に確保するため、設備の計画的な更新と適切な維持管理が望まれる。	

事業NO.704	事業名	水源井更生工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	---------	--------	-----

評価対象事業名	水源井更生工事			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・1-(1)-	係名	配水係	内線	3441		
計画事業名	深井戸の適正な維持管理			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	1.原浄水施設費
関連計画				会計	事項	1.原浄水施設事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 市内39箇所の水源井内の活性化を図るとともに、各々水源井の適正揚水量により地下水を主とする水道水の安定供給と過剰揚水による地盤沈下等の環境問題に寄与する。

概要 三鷹市の水道水約6割にあたる自己水源である深井戸の揚水量を維持するため、目詰まり等により揚水量が減少した水源井の更正工事を行う。

始期 - 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人 または 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点
更生工事実施水源の選定については、水源井の状況、及び水中ポンプ取替時期等を考慮した担当者間の一層の情報交換を行い、適正揚水量の増量、工事の削減を図る。

今年度の事業・業務量の説明
浚渫、ブラッシングなどのほか、目詰まりを解消するために有効な方法で3箇所の水源井を実施する。

今年度のまちづくり指標の説明
地下水と都水との現状割合を維持するため水源井内のストレーナの目詰まりを解消し、水位回復による安定揚水を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	実施水源井 上連雀7号、牟礼5号水源	実施水源井 三鷹北野2号、三鷹北野8号水源	計画水源井 三鷹新川3号水源 三鷹新川7号水源 牟礼2号水源	実施水源井 上連雀5号水源 三鷹新川7号水源 牟礼2号水源
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井3箇所の揚水量維持	水中ポンプの故障により、施工箇所が1箇所変更になったが計画どおり3箇所を実施し、安定した揚水量を維持できた。
予算額(千円)	6,060	8,820	13,650	13,650
決算額(千円)	5,460	7,350		11,729
執行率(%)	90.1%	83.3%		85.9%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					← 設計施工期間 →								
結果					← 上連雀5号水源設計施工期間 →				← 三鷹新川7号、牟礼2号水源設計施工期間 →				

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等
集水用スクリーン目詰まり等を解消したことにより、自然水位、揚水水位が回復し、安定揚水量を確保することができた。

事業NO.704	事業名	水源井更生工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	---------	--------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		自己水源用として深井戸を掘って30～45年が経過し、老朽化していく井戸ケーシング、ストレーナの維持管理及び、更生工事箇所を増やし、適正揚水量による自己水を確保する。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	減少	関係機関との調整により、17年度は水中カメラによる井内調査がないため、調査費及び経費等が減になった。掘削後30～45年が経過し、ケーシング、ストレーナ等の腐食による劣化が予測できるので井内調査をしながらの更生が望ましい。
	コスト面	維持	
	成果面	D	
総合評価	第2水準		委託の可能性 有(無)(理由) 老朽化した井戸それぞれの特徴を把握した経験が必要。
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			評価を踏まえ予算化に努める。

《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由	ブラッシング、スワッピングによる目詰まり解消が図られ、計画よりも早く自然水位が回復したので施工期間を短縮し、当初計画どおり水源井3箇所での更生が完了した。	
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由	今年度より、施工箇所を2箇所から3箇所へ増やすとともに自然水位、揚水水位が回復し、増量による地下水の安定揚水が可能になり当初の成果目標を達成することができた。	
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由	東京都水道局との統合により、都水の購入がなくなり経済性についての評価は低いですが、自己水6割維持の目標についての効率性は評価できる。	
	総合評価及び次年度の実施方針	自己水源である深井戸スクリーンの目詰まりが解消し、揚水水位の回復により地下水を主とする水道水の安定供給が可能になった。しかし、掘削後30年以上を経過した井戸には、一部崩壊し始めている所もあり、今まで以上に十分な維持管理が必要である。	
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由	3月中旬への工期の延長は予定外のポンプの故障によるものと認められる。	
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
理由			
効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価	地下水を継続的、安定的に確保するため、引き続き適切に管理していくことが望まれる。		

事業NO.705	事業名	配水管新設等工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	----------	--------	-----

評価対象事業名	配水管新設等工事			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・1-(3)-	係名	工務係	内線	3436		
計画事業名	配水管網の整備			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	2.配水施設費
関連計画				受託水道会	事項	3.配水施設事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入
 市民のために、より効率的な配水管網整備を目的とし、配水管の新設・増径等工事を実施する。

目的

概要 石綿セメント管管種変更工事に合わせ、近接した配水管未布設箇所への布設を進める。また、都市計画等の進捗に合わせ配水管の新設・増径等工事を行う。

始期 単年度 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.7人 または 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点
 前年度に引き続き、事業の効率化と市民サービスの向上に向け配水管網の整備を進める。

今年度の事業・業務量の説明
 計画延長 3,660m

今年度のまちづくり指標の説明
 より効率的な配水管網の整備で年度計画100%実施を目指し、市民サービスの向上を図る。

改善提案に対する政策会議の意見・評価

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	実施延長 2,127m	実施延長 2,537.9m	計画延長 3,660m	実施延長 3,628.4m
まちづくり指標 行政指標 協働指標	より効果的な配水管網の整備が図られた。	より効果的な配水管網の整備が図られた。	年度計画の100%実施	より効果的な配水管網の整備が図られた。99.1%
予算額(千円)	149,415	148,000	229,475	229,475
決算額(千円)	119,892	143,411		177,099
執行率(%)	80.2%	96.9%		77.2%

年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画						設計・施工期間						
									設計等次年度準備期間			
結果						設計・施工期間						
										設計等次年度準備期間		

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等
 他企業工事との調整により、一部工事について2月末では終了できない工事が発生したため。
 次年度の設計準備については、道路管理者及び私道の所有者との調整が遅れたため。

事業NO.705	事業名	配水管新設等工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	----------	--------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		石綿セメント管の布設替工事と連動して実施しているため、道路管理者や地権者の理解を得られない路線も点在する。次年度についても、今年度より、道路管理者や地権者と交渉し早めに理解を求めていく。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 埋め戻し土の変更等によりコストの削減を図る。
	項目	維持	総括説明
	コスト面	維持	
	成果面	維持	
総合評価	第3水準	委託の可能性	有(無) (理由)
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		石綿セメント管、経年管の布設替工事とともに計画に基づいた効率的な実施が望ましい。
	妥当である 改善の余地あり 抜本的見直し必要	意見	
	改善提案に対する政策会議の意見・評価		評価を踏まえ予算化に努める。

《事業の事後評価》

主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		概ね予定路線に配水管を新設することができ、配水管網の整備を進めることができた。
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		配水管網や道路の形状等により目標値を若干下回ったが、概ね目標値を達成することができた。
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		石綿セメント管との同時施工により効率的に整備することができた。また、第二種改良土を使用することによりコストの削減も図ることができた。
事 後 評 価	総合評価及び次年度の実施方針		関連する石綿セメント管の減長に伴い新設管については若干目標値を下回ったが、次年度については、石綿セメント管の目標値の達成に合わせて、新設管も目標値を達成するよう努力する。
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
理由			
総合評価			市民サービスの向上に向けて、コスト縮減、事業の効率化等に工夫を凝らしながら、引き続き配水管未布設箇所への新設を進める必要がある。